

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	143	4年	後期	看護学科	必修	チーム医療（共通） Interdisciplinary Team Care	15	1
担当教員								
松井 美由紀	竹内 一人	豊田 ゆかり		田野 ゆづき				
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
保健医療福祉分野におけるチーム医療を推進していく上で、必要なチームマネジメントや多職種との連携・協働を促進するものを理解することができる。さらに保健医療福祉でのチーム医療の実際から、チーム医療の目指すものやチーム医療のあり方を考え、各職種が専門性を発揮し協働していく重要性を学ぶ。								
到達目標（授業目標）								
1. チーム医療の概念を説明できる。								
2. 保健医療福祉に携わる職種と役割を説明できる。								
3. チームマネジメントに必要な力を説明できる。								
4. チーム医療の現状からチーム医療の取り組みを知り、これからのチーム医療のあり方を考えることができる。								
5. 専門性を発揮しチーム医療を推進するための自己の役割を考えることができる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	チーム医療の概要：チーム医療の歴史・チーム医療の定義・チーム医療の要素・パートナーシップについて講義をする。（松井美由紀）							
2回	チーム医療におけるチームマネジメント：チーム医療における協働・連携・リーダーシップについて講義をする。（松井美由紀）							
3回	チーム医療の実際（1）：医師の視点から、病院内におけるチーム医療について講義をする。（竹内一人）							
4回	チーム医療の実際（2）：医師の視点から、病院内におけるチーム医療の実際について講義をする。（竹内一人）							

5回	チーム医療の実際（3）：臨床検査技師の視点から、検査部外におけるさまざまなチーム医療について講義をする。（田野ゆづき）								
6回	チーム医療の実際（4）：保健師の視点から、地域包括ケアにおけるチーム医療について講義をする。（豊田ゆかり）								
7回	チーム医療の実際（5）：看護師の視点から緩和ケアチーム、周術期管理チームの取り組みについて講義をする。（松井美由紀）								
8回	チーム医療における課題：対立と葛藤のメカニズムと解決を目指したアプローチを講義する。（松井美由紀）								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
各授業後の授業での学びや気づきに関する記述内容や、授業課題から評価する。（リアクションペーパーやレポート） 松井（60%）、竹内（20%）、田野（10%）、豊田（10%）の配分とする。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	なし（適宜資料を配布する）								
参考図書等	細田満和子：「チーム医療とは何か」（日本看護協会出版会）鷹野和美編著：「チーム医療」（医歯薬出版）								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
チーム医療とは何かということを知り、授業での学習内容を復習することを自主的に行う。									
関連科目									
前科目	140 医療概論（共通）	142 医療と安全（共通）							
後科目									
実務家教員									
看護師（医療機関）	松井 美由紀								
医師（医療機関）	竹内 一人								
保健師（行政機関）	豊田 ゆかり								
臨床検査技師（医療機関）	田野 ゆづき								
備考									